

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議/ビデオ会議・Web会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 9. No.16 2007年9月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2007 CNA Report Japan. All rights reserved.

ニュース

ポリコム、NTT コミュニケーションズとデータセンターハウジングと保守サービスを組み合わせたサービスの提供を開始

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区、以下、ポリコム)は、「ポリコム多地点接続サーバ ハウジング&保守サービス」を発表した。7月下旬より、ポリコムの認定販売代理店より販売を開始した。

「ポリコム多地点接続サーバ ハウジング&保守サービス」は、ユーザが所有するポリコムの多地点接続サーバ(MCU)をエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区、以下、NTT Com)のデータセンターに設置、同社の「アプリケーション接続サービス」とポリコムの保守サービスと組み合わせて提供される。これにより、ユーザは、ビデオ会議専任のIT運用管理者がいなくても、ビデオ会議システムを安定稼働させることが可能になるという。

ユーザは、NTT Com のデータセンターに設置したポリコム製MCUをNTT Comの「統合VPNサービス」、「アプリケーション接続サービス」を利用して接続する。ポリコムは、「DC収容サービス」というNTT ComのデータセンターにMCUをハウジングするユーザ専用の新サービスと、以下のサービスを提供する。

(1)保守契約者専用コールセンター:フリーダイヤルで、操作説明からトラブルシューティングまでの幅広いサポート(対応時間:月~金(祝祭日を除く)9:00~18:00)を提供するもの。

(2)オンラインシステムステータスチェック:ユーザの多地点接続サーバ(MCU)へのリモートアクセスによるステータスの確認、ソフトリブートによるシステム復旧、ログ採取を行う。

(3)オンサイトサポート:ポリコムの技術スタッフが必要と判

断した場合、障害レポート受付から翌営業日以内のフィールドエンジニアを派遣する。

(4)交換品即日発送サービス:ポリコムの技術スタッフが必要と判断した場合、障害レポート受付と同日にパーツ発送する。

(5)無償ソフトウェアアップデートおよびアップグレード:ポリコムのWebサイトから最新のソフトウェアをダウンロードして利用することが可能。

日本タンバーク、H.323/SIP 両方に対応したファイアーウォール越え機能と通話コール転送機能を1台に集約した製品を発表



TANDBERG Video Communication Server

日本タンバーク株式会社(東京都港区)は、TANDBERG Video Communication Server(タンバーク・ビデオ・コミュニケーション・サーバ、以下TVCS)の販売を9月6日より開始した。

TVCSは、H.323やSIPにそれぞれ対応したビデオ会議など異なる通信プロトコルであっても簡単に相手とコミュニケーションが行えるシステム。

TVCSには、H.323とSIPの通信プロトコルに対応したゲートキーパ機能(TANDBERG Control)とファイアーウォール越え機能(TANDBERG Expressway)を内蔵する。従来、タンバークでは、H.323通信環境でのゲートキーパ機能とファイアーウォール越え機能を提供していたが、今回のTVCSでSIPにも対応させることになる。つまり、これによ

て、H.323、SIP の混在した環境であっても、プロトコルを気にせずにビデオ会議システムの環境を構築できる。

また、TVCS には新たに「FindMe(ファインド・ミー)」機能も搭載した。この FindMe 機能は、着信した通話を他の番号へ転送する機能。たとえば、ビデオ会議でのコールで着信した場合、他のビデオ会議端末や3G携帯テレビ電話などに転送することができる。

「FindMe によって相手の持っている複数の番号を覚えておく必要はなく、そのうちの一つの番号を覚えておくだけで相手にリーチできるメリットがある。」(日本タンバーク)ただし、3G携帯テレビ電話については、TVCS とは別に3Gゲートウェイが必要になる。

FindMe 機能を使うためには、まず、着信元(primary)と転送先の番号設定をPC経由で TVCS にログインして行う。転送先は、着信時に通話中であった場合(busy)の転送先と、無応答(no answer)であった場合の転送先の2種類ある。着信元、通話中転送、無応答転送と、それぞれ5カ所まで番号を入力し設定できる。無応答転送では、転送するまでの時間設定も可能。

今回 TVCS を開発した背景について同社では以下のように説明する。「H.323とSIPを統合したコミュニケーションへの要望の高まりを実感している。H.323 は今後無くならないとは思わないが、SIP ベースの製品は今後増えてくるのではないかと。当社としては、それに合わせて SIP のインフラストラクチャ製品(MCU、ゲートキーパ、ファイヤーウォールなど)にいち早く対応してきた。異なるプロトコルを統合することは技術的に難しいことではあるが、ユーザーサイドから考えた場合、簡単にコミュニケーションができることは大変重要だ。それを具現化したのが今回の製品になる。」

製品の価格については、3種類ある。「TANDBERG VCS-Control ベースモデル」(50 登録&10 ローカルコール)が、3,219,300 円(税込み、以下同)、「TANDBERG VCS-Expressway ベースモデル」(25 登録&5 ファイヤー・トラバーサル・コール)が、3,395,700 円。いずれも SIP/H.323 変換を含む。そして、「TANDBERG VCS-FindMe」(無制限登

録)が、1,690,500 円。FindMe は、Control、Expressway いずれかと合わせて購入する必要がある。

TVCS の販売は、大企業から中堅企業をターゲットとしており、日本国内では年 100 台の販売を見込む。

NTT アドバンステクノロジー、複数チャネルの HD 映像送出手が可能なテストツールをリリース

NTT アドバンステクノロジー株式会社(東京都新宿区)は、IMS クライアント・サーバおよび 3G-324M 端末を疑似し開発器機や検証器機の妥当性検証・解析をサポートする総合試験ツール「ProLab」の最新版 v5.0 をリリースした。

ProLab は、イスラエルの RADVISION 社が開発。日本国内では NTT アドバンステクノロジーが販売する。「ProLab は、直感的な操作で使い勝手の良さを実現した総合試験ツール。日本国内でも多数の通信器機ベンダやキャリアで利用実績がある。当社では、今後もさらに、お客様が高度な試験を短期間に簡易に実施できるよう、RADVISION と共に ProLab の機能拡充を進める予定。」(NTT アドバンステクノロジー)

今回最新版での主な追加機能は次の通り。(1)NGN 端末開発者のための IMS サーバシミュレーション、(2)HD 映像を使用した映像ネットワークを構築するシステムインテグレータのための複数チャネルのHD映像送出手。(3)試験前にユーザが設定したコールフロー・メッセージの期待値と試験結果を比較する試験結果解析機能、などを追加した。

ProLab の特長:(1)最新の勧告に準拠した、以下の各種ネットワークエレメントを疑似。(2)IMS/RFC3261 SIP 端末(UE)/SIP サーバ(CSCF)、H.323 エンドポイント/ゲートキーパ、3G-324M 端末、(3)マルチプロトコル(SIP、IMS SIP、H.323、RTP、RTCP、3G-324M)とマルチメディア(H.264、MPEG-4、H.263 などの映像コーデックおよび各音声コーデック)対応、(4)RTPシミュレーション、(5)試験スケジューラ(自動試験実施機能、(6)音声品質解析機能(MOS と PESQ)、(7)画像品質解析機能、(8)既存

試験環境と接続する XML/SOAP をサポート、(9)3G-324M における IMTC/GCF のテストケースを所持、(10)3G-324M におけるテレビ電話開始までの時間を大幅に短縮する標準プロトコル WNSRP、MONA(H.324 Annex K)をサポート。

価格は、500万円から(消費税別)提供予定。

東京商工会議所、ギンガネットテレビ電話でテレビ電話相談サービスを開始

東京商工会議所(東京都千代田区)は、8月初旬より、株式会社ギンガネット(東京都渋谷区)の IP テレビ電話「ギンガネット電話」を活用した“テレビ電話相談サービス”を荒川支部と渋谷支部において提供開始した。支部を訪れる相談者が、テレビ電話相談サービスを通して、本部の弁護士や税理士などに法律・税務・労務などについて専門的な相談が行える。

従来では、支部には弁護士などの専門家を週に1回程度しか派遣することができず、専門家が来ていない場合は、本部を案内するか、日時を改めてもらわなければならなかったが、今回開始されたサービスによって相談者の不便さを改善しサービスの充実化を図る目的がある。



WARGATE 503 Dual(ワーブゲイト 503 デュアル)

今回のシステムは、東京商工会議所本部と荒川支部、渋谷支部を IP ネットワークで結んで構築した。まず、3カ所で試験的にサービスを提供し今後拡充させていく考え。

ギンガネットによると、専門的な相談にいつでも対応できるテレビ電話窓口の設置は、大都市圏の商工会議所では初の試みという。

東京商工会議所は、東京都庁の外資系企業向けワンストップ総合サービス窓口「東京ビジネスエントリーポイント」とギンガネット電話でつないで、専門家によるテレビ電話相談サービスを提供していたが、サービスが好評だったため、本部支部間でも提供開始することにした。(東京ビジネスエントリーポイント記事:CNAレポート・ジャパン Vol.7 No.16 2005年9月15日号)

【海外 news】TANDBERG 社、Codian 社を買収

ノルウェーのビデオ会議システムメーカー大手のタンバーク社によると、同社が、MCU などインフラストラクチャ製品専門大手メーカーである Codian 社の買収を発表した。

買収は、現金と株式取得により行われ、総額は、2億7000万USD(約306億円)規模。買収手続きは、2007年第三四半期(7月から9月)中に完了する予定。

Codian 社は、MCU、ゲートウェイ、コンテンツサーバ、管理ソフトウェアなどを提供しているが、タンバーク社では、今後も Codian 製品ラインの開発、サポートを引き続き行っていくながら、HD ビデオ会議システムの大規模展開に必要なプラットフォームの Codian が持つ技術などをタンバークのトータルソリューションの一部として提供していく考え。

2002年に設立された Codian 社は、英国に本社を置く非公開会社。米国、欧州、アジアにサービスとサポートを提供し、107名の従業員を擁する。2007年に上半期に同社が計上した未監査の売上は約1,300万USD(約14億7000万円)。日本には、支社は未設置。

(Codian 関連記事:2004年3月31日 Vol.6 No.6号、2005年12月15日 Vol.7 No.22号 Codian インタビュー、2007年2月28日 Vol.9 No.5号 APAC パートナーカンファレンスレポート、など。)

【海外 news】米 IBM、Web 会議大手の WebDialogs を買収、IBM UC²戦略の強化
米 IBM は、Web 会議大手の WebDialogs の買収を発表。

(プレスリリースが8月22日付けで発表。)プレスリリースによると、買収金額は未公表。

WebDialogs は、米マサチューセッツ州に本社を持ち、同社の Web 会議システムは、音声会議サービス事業者や OEM による Web 会議システム供給なども行い、現在 50 万ユーザが同社の Web 会議システムを利用していると言われる。株式市場に上場していない未公開ベンチャー企業。WebDialogs は、IBM ソフトウェアグループ Lotus ユニット部門に入る。

今回 WebDialogs を買収により、WebDialogs のシステムは、「IBM Lotus Sametime Unyte(IBM ロータス・セイトタイム・ユナイテ)」と改名。今後は既存の IBM ロータスソリューションと統合しそのソリューションの一部として提供される予定。

IBM が公表している今回の買収に関する FAQ によると、今回の買収をIBMとしては、同社が推し進める「IBM UC² 戦略(Unified Communications and Collaboration)」のひとつの要として見ている。

IBM は、既に自社で Web 会議システム「Lotus Sametime」を提供しているが、既存のロータスソリューションである Lotus Sametime と、今回買収で得る WebDialogs のソリューションは、補完関係にあるという。

今後は、既存の Lotus Sametime は、オン・プレミス・システム(サーバ導入型ソリューション)として、それに対して IBM Lotus Sametime Unyte を ASP サービスとしてそれぞれ棲み分けして提供していく考え。両者を合わせて提供することで、大企業から中小企業まで“あらゆる規模”の企業にオン・プレミス、サービスと対応したソリューションを提供することが可能になると考えている。

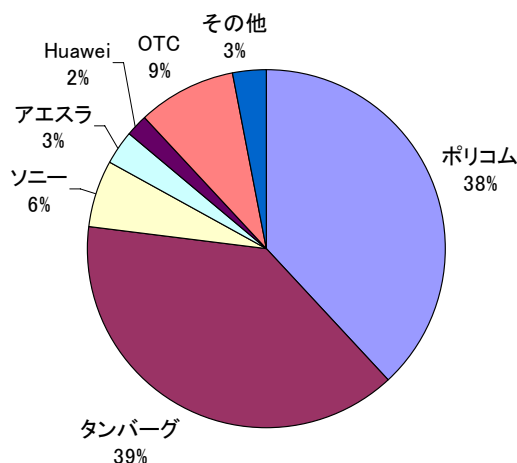
従って、WebDialogs のソリューションが、Lotus Sametime を置き換えることはないと同社では断言している。

IBM ビジネスパートナーが、IBM Lotus Sametime Unyte を既存のアプリケーション、製品、サービスに統合しやすいように、API(アプリケーション・プログラミング・インターフェイス)を提供する。既存の WebDialog ユーザは、今後も今まで通り利用ができるとしている。

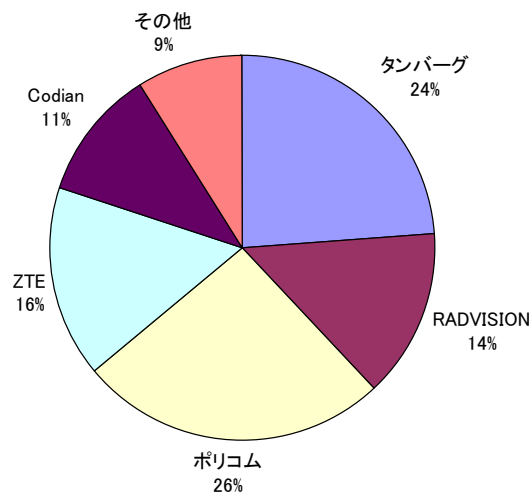
IBM Lotus Sametime Unyte の言語は、現在のところ英語、独語、仏語で今後他言語にも順次対応予定。また、北米以外の海外展開についてはあらためて 2008 年に発表するようだ。

【海外 news】米会議システム専門調査会社 Wainhouse Research 社、2007 年第二四半期テレビ会議専用端末 & MCU グローバル市場統計発表

元記事：Wainhouse Bulletin
Volume 8 Issue #29 29-Aug-07
Videoconferencing Industry Statistics: Q2-2007
<http://www.wainhouse.com/files/wrb-08/wrb-0829.pdf>



上グラフ：07 年第二四半期 テレビ会議グループ専用端末売上 - グローバル市場 OTC 中国系企業数社

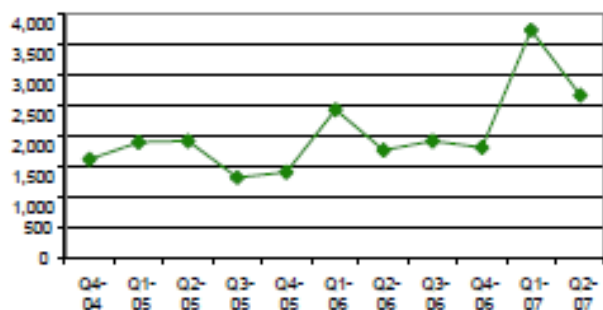


上グラフ：07 年第二四半期 多地点接続装置(MCU)売上 - グローバル市場 ZTE は中国企業。

米会議システム専門調査会社 Wainhouse Research 社(ウェインハウスリサーチ)の発表によると、2007 年第二四半期(2007 年 4 月-6 月)のテレビ会議専用端末グローバル市場は、49,043 台出荷、売上は、2億 6200 万 USD(約 301 億円)であった。対前年成長率は、売上ベースで

34.1%増、端末台数で、25.5%増。同社によると市場が好調であるとのコメントを出している。

Group Unit Shipments in UK



上グラフ:イギリス市場 - 専用端末市場推移 2004 第 4 四半期から 2007 年第二四半期

	06 年 第二四 半期	07 年 第一四 半期	07 年 第二四 半期	対前四 半期比	対前年 成長率
専用端 末売上	\$196	\$250	\$262	5.0%	34.1%
専用端 末台数	39,089	48,908	49,043	0.3%	25.5%
インフ ラ製品 売上	\$53	\$69	\$76	11.1%	42.9%

上表:専用端末、インフラ製品(MCUなど)売上及び出荷台数:出荷台数は端末のみ。金額単位:百万USD



Wainhouse Research, LLC <http://www.wainhouse.com>

【CNAレポート・ジャパン橋本の補足】

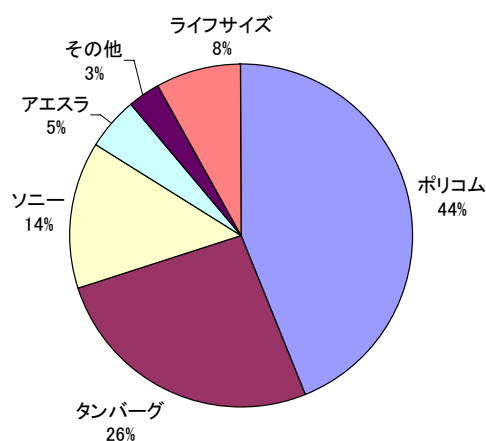
やはり、中国系の躍進は着実に起こっているといえる。端末市場では、中国系の Huawei(ファーウェイ)の2%と OTC(中国メーカー複数社合算:合算社数は未確認)の9%合算でグローバル市場の11%を中国系メーカーが占めていることになる。その理由のひとつは、中国市場は北米に次ぐ第二位の市場と言われ、これらの企業の躍進は中国市場の拡大に負うところが大きいということと思われる。

MCU市場では最近タンバークが、Codian を買収したことにより市場でのタンバーク/Codian 仮の合算シェアは、35%になる。

【海外 news】ドイツ VTRON 社、2007 年第二四半期テレビ会議専用端末市場メーカーシェア発表 - ドイツ、オーストリア、スイス3カ国合計

Vtron Videoconferencing In Europe
Marktzahlen Dach-02/2007

http://www.vtron.de/VTRON_News_0807.pdf



2007 年第二四半期テレビ会議専用端末市場メーカーシェア発表 - ドイツ、オーストリア、スイス

テレビ会議システム専門の市場調査及びコンサルティングを行う Vtron 社(ドイツ マインツ市)は、同社のテレビ会議専門誌「Videoconferencing In Europe」にて、ドイツ、オーストリア、スイス3国(中央ヨーロッパ)の 2007 年第二四半期のテレビ会議専用端末市場の各メーカーシェアを発表した。

ポリコムが44%で市場でのトップ、そして次はタンバークが26%、ソニーが14%、アエスラが5%、LifeSizeが8%、その他が3%という結果。

Vtron 社によると、ポリコムは、HD対応のテレビ会議システムの販売が好調だったことをレポートしている。

今回初めて LifeSize 社のシェアを公表。中央ヨーロッパ市場で市場第4位のシェアを確保したようだ。

このシェア状況は第二四半期ではあるが、ソニーにとつ

ては第一四半期と計算しているという。一般的にテレビ会議メーカーは、例年第一四半期が弱いと言われている。それは第四四半期に駆け込みの受注が入るためだ。今回の結果はその影響がで



たものと Vtron 社は説明している。

VTRON GmbH

<http://www.vtron.de/>

展示会レポート

ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン株式会社(東京都港区)は、e-Learning WORLD 2007(「e-Learning WORLD 2007」実行委員会/フジサンケイ ビジネスアイ/(株)シー・エヌ・ティ主催、8月1日(水)-8月3日 東京ビックサイト、約2万人強来場 <http://www.elw.jp>)に、同社のWebEx TrainingCenterを中心に展示。



e-Learning WORLD 2007 WebEx ブース

「弊社ブースには、お陰様で予想の倍以上の方々に来場して頂き、eラーニング分野における、Web会議の可能性やニーズについての確かな手ごたえを感じた。」(ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン)

セミナー・展示会情報

OKIのビデオ会議で経費と時間のコストダウンを実現!

日時:9月26日15時00分～(受付14時30分～)

会場:沖電気工業 虎ノ門ショールーム

主催:沖電気工業株式会社

共催:沖電気ネットワークインテグレーション株式会社
詳細・申込:

<http://www.oki.com/jp/IPtel/seminar/vn.html>

エクセレント・コミュニケーション・サミット 2007

日時:10月3日13:00～(受付開始12:30～)

会場:大塚商会本社ビル

主催:株式会社大塚商会

【ゴールドスポンサー】日本電気株式会社、ポリコムジャパン株式会社、マイクロソフト株式会社など。

【シルバースポンサー】日本タンバーク株式会社など。

詳細・申込:

<http://it.otsuka-bs.co.jp/otsuka/event/ecs2007/>

CEATEC JAPAN 2007

日時:10月2日-6日

会場:東京ビックサイト

主催:CEATEC JAPAN 実施協議会、社団法人電子情報技術産業協会、情報通信ネットワーク産業協会、社団法人コンピュータソフトウェア協会

*コンファレンス(通信ネットワークトラック)にて10月5日、HATS 推進協議会(14:00～15:00)、IMTC(16:00～17:00)が講演。

詳細・申込:<http://www.ceatec.com/>

**Web会議 画期的活用術ご紹介セミナー
Web会議はオフィスで本当に役に立つ!?
賢い企業はこう使う!!**

日時:10月04日15:00-17:00

会場:キャノンソフト情報システム 大阪本社

主催:キャノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.cjs.co.jp/seminar/detail.cfm?no=988>

編集後記

CNAレポート・ジャパンへ、日々ご協力、ご支援誠に有り難うございます。7月末号以来夏期スケジュールで8月15日号、31日号をお休みさせていただきましたが、今号から再開致します。

8月6日にウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパンのオンラインセミナーでWeb会議市場について講演させていただきましたが、その録音が下記URLから聞けますのでご興味がありましたら宜しくお願い致します。

<http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/index.html>

今後とも宜しくお願い致します。

橋本啓介